

衆議院外務委員会ニュース

平成 25. 4. 5 第 183 回国会第 4 号

4 月 5 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 岸田外務大臣から発言がありました。

2 国際情勢に関する件

・岸田外務大臣、鈴木外務副大臣、あべ外務大臣政務官、左藤防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

長 島 昭 久 君（民主）

- ・北朝鮮情勢が緊迫化する中、同国が再びミサイル発射を行うなどの不測の事態に備えて、政府は我が国の防衛上、どのような対応措置をとっているのか。
- ・中国が1980年代から計画的に進めている海洋進出及び接近拒否能力の向上について、岸田外務大臣は安全保障上の観点からどのように捉えているのか。
- ・沖縄に駐留する米軍の存在意義及び嘉手納以南の米軍基地整理統合を通じて負担が軽減されることについて、沖縄県民の理解を得ることの重要性を岸田外務大臣はどのように認識しているのか。

小 熊 慎 司 君（維新）

- ・福島第一原子力発電所事故による風評被害対策として、安倍政権発足後、前政権と比較して新たに行っていることはあるか。
- ・アフリカにおける我が国のプレゼンスを高めるため、野口英世アフリカ賞について積極的に情報発信するべきではないか。
- ・アジア太平洋地域で価値観を同じくする国々との連携を強化していくことの重要性について、政府はどのように認識しているのか。

笠 井 亮 君（共産）

- ・2006年よりキャンプ・シュワブ陸上部で行っている普天間飛行場移設関連の工事の総額と件数について、伺いたい。

- ・防衛省は陸上部の工事に関し、普天間飛行場移設に関連する業務として予算を組んでいるが、問題はないのか。
- ・政府は、普天間飛行場の辺野古移設を前提として関連工事を行っているが、沖縄県民の理解を得られると考えているのか。

山 内 康 一 君（みんな）

- ・外交手段として活用するため、教育関連のODA予算を充実するべきではないのか。
- ・外務省は毎年、NGO団体が開催する「世界一大きな授業」に参加した子供たちの表敬を受けているが、今年は岸田外務大臣による対応をお願いできないか。
- ・日中及び日韓の間での歴史共同研究事業について、その成果を広く内外で知ってもらうため、適切な情報発信方法を検討するべきではないのか。

鈴 木 馨 祐 君（自民）

- ・仮に北朝鮮が崩壊し、統一後の朝鮮半島に核兵器が残された場合、朝鮮半島にはソ連崩壊後の核廃棄に際して存在したような法的枠組みが存在しないが、朝鮮半島非核化プロセスの在り方について、政府はどのように考えているのか。
- ・日中間における排他的経済水域が画定されていない東シナ海において、政府は我が国の沿岸から200海里以内で、かつ日中間線以西の海域についても、より積極的に我が国の権利を主張していくべきではないか。

3 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約の締結について承認を求めるの件（条約第1号）

・岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。